令和　2年度（31年度決算分）高松市事務事業評価表　【事中・事後評価】

総合計画体系		評価担当	
まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	局名	市民政策局
政策	基本的人権を尊重する社会の確立	課（室）名	人権啓発課
施策	人権尊重意識の普及・高揚	電話番号	087-839-2292
基本事業	人権啓発の推進	事業実施主体	市
事務事業	人権啓発推進事業	事業期間	平成 28年度～令和　5年度

【事業全体概要】

事業の概要	基本的人権を尊重する社会を確立するため、同和問題を始めとする様々な人権問題の解決に向け、研修講座や講演会の開催など、各種啓発事業を行う。
2年度概要	①人権啓発推進員（コミュニティ協議会選出）の支援 ②人権・同和問題指導者研修講座の開催等 ③ハンセン病を正しく理解する講演会、パネル・作品展の開催 ④人権フェスティバルの開催 ⑤民間と連携した啓発活動、企業等への啓発

重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	

【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	市民のあらゆる人権問題に関する啓発を行い、市民の人権に対する理解を深める。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
① 講演会等の開催回数	回	6	6	5	6	6
②						

【事業の成果】

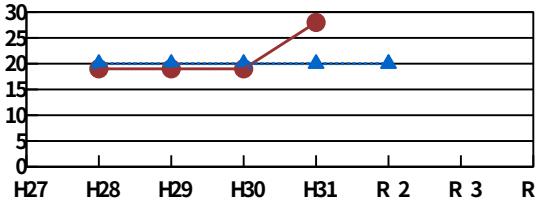
成果指標①

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
市民満足度（「人権尊重意識の普及、高揚」）	%	目標値	20	20	20	20	20
		実績値	19	19	28		

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

市民満足度については、目標を達成することができた。

（目標達成度）



（達成度）
140.0%
35点

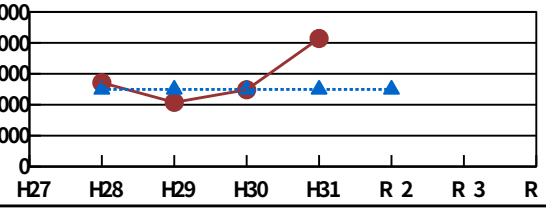
成果指標②

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
参加人数（人権啓発推進員による啓発事業，講演会等）	人	目標値	4,990	4,990	4,990	4,990	4,990
		実績値	4,154	4,968	8,282		

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

人権啓発推進員の工夫により様々な形態での啓発事業を実施し、広く市民の人権意識の普及・高揚に努めたことにより、事業形態を変更したことにもより、参加者数は見込みよりも増加し、目標値を達成することができた。

（目標達成度）



（達成度）
166.0%
35点

【コストの推移】

指標名	単位	平成 29年度（決算）	平成 30年度（決算）	平成 31年度（決算）	令和　2年度（予算）
トータルコスト	[千円]	66,810	65,076	63,212	63,548
(事業費)	[千円]	44,049	42,390	40,448	40,784
(職員人件費)	[千円]	22,761	22,686	22,764	22,764

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

開催回数を重ね、着実に事業が定着している。
今後も啓発活動を継続し支持層の拡大に努める

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

人権尊重都市たかまつ市民会議との連携強化に努める。
高松市人権施策推進懇談会の意見を聴取し、各種啓発事業に反映する。

令和　2年度（31年度決算分）高松市事務事業評価表　【事中・事後評価】

総合計画体系		評価担当	
まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	局名	市民政策局
政策	基本的人権を尊重する社会の確立	課（室）名	男女共同参画・協働推進
施策	人権尊重意識の普及・高揚	電話番号	087-839-2275
基本事業	人権啓発の推進	事業実施主体	市
事務事業	ＬＧＢＴ啓発等推進事業	事業期間	平成 30年度～令和　5年度

【事業全体概要】

事業の概要	ＬＧＢＴ啓発講演会や講座・パネル展を実施するとともに、ポスター・パンフレットを作成し、市民に対して意識啓発を図ることにより、当事者等が暮らしやすい環境を整備する。
2年度概要	啓発講演会 啓発ポスター作成 啓発講座・パネル展 研修会の開催 パートナーシップ宣誓制度

重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	1-⑰	事務事業の類型	②ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	一人一人の多様性が尊重される社会の実現を目指し、ＬＧＢＴに対する差別や偏見が解消される取組を進めていく。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
① 講演会等の開催回数	回		5	5	6	6
②						

【事業の成果】

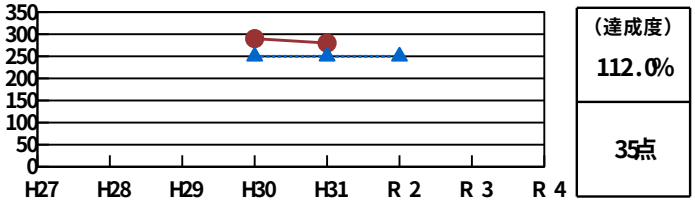
成果指標①

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
講演会等参加者数	人	目標値		250	250	250	250
		実績値		290	280		

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

業務委託をする等の効果により目標値を１１％上回る成果を得た。

（目標達成度）

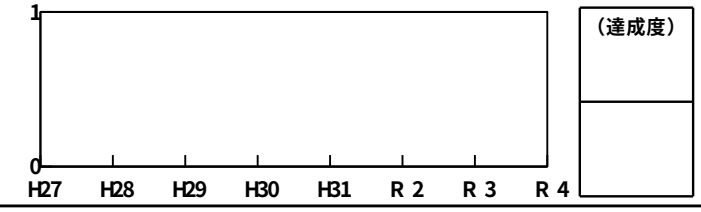


成果指標②

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
		目標値					
		実績値					

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

（目標達成度）



【コストの推移】

指標名	単位	平成 29年度（決算）	平成 30年度（決算）	平成 31年度（決算）	令和　2年度（予算）
トータルコスト	[千円]		10,310	10,425	10,303
(事業費)	[千円]		479	561	439
(職員人件費)	[千円]		9,831	9,864	9,864

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

啓発講演や出張講座等を行うことで、職員や市民のＬＧＢＴなど性的少数者に対する正しい認識や対応についての理解が深まるよう周知啓発に努めた。また、パートナーシップ宣誓制度の導入や啓発パンフレット等の作成を行った。今後も引き続き、ＬＧＢＴに対する偏見や差別の解消に向けた周知啓発に努めていく必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

今後も引き続き啓発活動を行っていくとともに、ＬＧＢＴ当事者の声にも耳を傾けながら、ＬＧＢＴも含めた全ての人が自分らしく生きることができる多様性を認め合う共生社会に向けて取り組んでいく。